

県 外 派 遣 報 告 書

栃木県バスケットボール協会 審判部

大会名	関東ブロック女性審判講習会	開催地	栃木
報告者名 (所属連盟)	慶野 芽以(クラブ) 赤羽 沙耶(ミニ)	派遣期間	平成 28年7月16日～17日
参加者 (所属都県)	茨城 山崎 律子 坂 美佑紀 群馬 穂川 苑子 四方田 麻菜美 埼玉 古宮 里美 小林 恵 千葉 円谷 怜美 篠崎 麻衣子 神奈川 井筒 直子 松尾 梨沙 山梨 日向 美奈 萱沼 美穂 栃木 赤羽 沙耶 慶野 芽以		

【感想・県内審判員へ伝えたいこと】

今回、初めて県外派遣の講習会に参加させていただきました。自分の中での不安が大きく、焦りの気持ちもありましたが、自分らしさを出し切ってくるという強い気持ちでゲームに臨みました。

いざゲームが始まってみると、緊張で普段とは全く違った感覚の中での審判となり、「自分だけが大量の人に見られている」という感覚を初めて今回実感しました。ゲーム中の自分の動き方やジェスチャーのひとつひとつをチェックされていると考えると体が硬くなりますが、これは今回の講習に限らず、普段のゲームにおいても意識すべきことだと改めて気づきました。自分が見られている見られていないに関わらず、自分のひとつひとつの動きにもっと責任を持ち、見栄えを力強くするというを普段からどれだけ意識して取り組むことが出来るか、その心掛けを忘れずに、今後の審判活動に努めていきたいと思えます。

今回の派遣に際しまして、渡邊諭審判長はじめ、今回ご協力頂きました役員の方々、県内審判員の方々にたくさんのご配慮、ご指導を頂きまして、心より感謝致します。また、渡邊整関東ブロック長をはじめ、この2日間でご指導を頂いた方々、他県の受講者の方々にも心より感謝申し上げます。有難うございました。

慶野 芽以

今回、昨年に続き二度目の関東ブロック女性審判講習会に参加させていただきました。

この2日間で一番感じたことは、自分の精神力の弱さ。独特の雰囲気の中始まったゲームは終始緊張で自分の力を出せずに終わってしまいました。他県のB級の方々のゲームを見させて頂いて、判定力はもちろん堂々とした立ち振る舞い、自分に足りないところを改めて実感できました。それに加え今まで以上にA級審判員に対する強い気持ちも確認することができました。

今後は強い精神力を身に付けるべく経験を重ね、日々努力していきたいと思えます。

渡邊諭審判長をはじめ、今回の派遣に際しまして様々のご配慮頂きました県内審判員の方々、渡邊整関東ブロック長をはじめ、ご指導頂いた方々、他県の講習生の皆様にもこの場を借りて心より感謝申し上げます。

赤羽 沙耶

※この記録表は、各自で記入して審判委員長に提出して下さい。

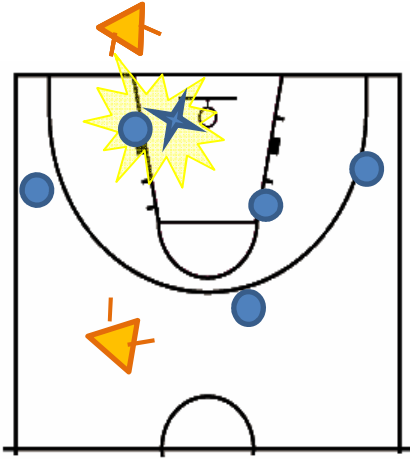
県外派遣

審判ミーティング記録表

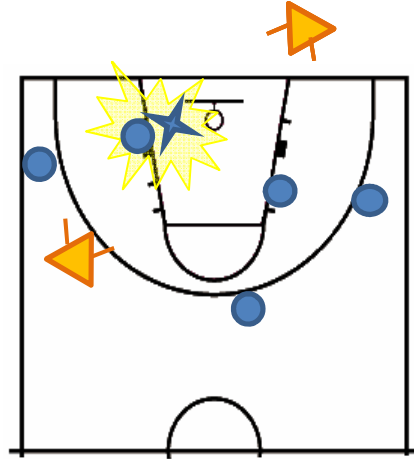
割当日:平成28年 7月 17日(日)

審判員名	慶野 芽以	相手審判	(主) 副	山崎 律子 氏	所属	茨城
	赤羽 沙耶		(主) 副	坂 美佑紀		茨城
カード	慶野:作新学院(栃木)-水城(茨城)、赤羽:作新学院(栃木)-水戸二(茨城)					

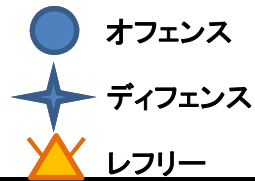
◇ ケース・ポジションについて



リードが見に来ている⇒トレイル右サイ



リードが寄っていない⇒トレイル



◇ ミーティングの内容

《慶野》

- ・ゲームの時間が進むにつれて、「自分をしっかりと表現しよう」という気持ちがみられた。
- ・自分がどこを見れば良いのかが定まらず、全体的に迷いがみられた。
⇒広い視野と狭い視野をしっかりと使い分けられるようにする。
(はじめはワイドに。何かが起こりそうな場面になった際には焦点を絞る。)
- ・レフリー同士が同じところを見てしまっていたり、2人ともプレイに目が当たっていなかったりする場面があった。
特にエリア6側のローポストでインサイドプレイヤーのやり合いが起きたケース。
⇒相手レフリーがどこにいて、どこを見ているのかの把握をしっかり行う。
また、カンファレンス等で動きの確認やプレイの見方の確認を行っておく。
リードがインサイドを見に来ていない際には、トレイルが下りてインサイドを見るようにすることも必要。
リードとトレイルがお互いに連動して動くイメージで。(上図)

《審判主任》 丸山 淳 氏 (山梨県)

《赤羽》

- ・ゲーム開始から同じ基準でファールを吹けるように。
ゲームが進むにつれて修正できていたのはよかった。
基準を早めに選手やコーチに示せるように。

《審判主任》 北島 寛臣 氏 (埼玉)

※この記録表は、各自で記入して審判委員長に提出して下さい。